

2008年(平成20年)6月15日(日曜日)

伝

新

宣

宣

伝統子ども相撲

◆川越◆ 川越八幡宮(南通町)で14日、伝統の「こども相撲大会」が開かれた。120人以上の子供たちが元気いっぱい取組を繰り広げ、境内に歓声を響かせた。写真。

かつて八幡宮の近くにあった民部稻荷神社は「相撲稻荷」と呼ばれ、昔からこども相撲が盛んに行われていた。しかし約40年前、商業施設の建設に伴い民部神社は八幡宮に合祀(ごうし)され、相撲行事も途絶えてしまったという。昨年9月、八幡宮の氏子青年会が中心となって大会を復活させた。2回目となる今大会は市外にも参加を呼びかけ、4〜9歳の子供が集まった。八幡宮の榎原祥光禰宣(ねぎ)(41)は「礼に始まり礼に終わる相撲の精神を子供たちに知ってもらい、親子のきずなを深める機会になれば」と話していた。

